

松山文化交流センター

～松山周回ぶらり旅～

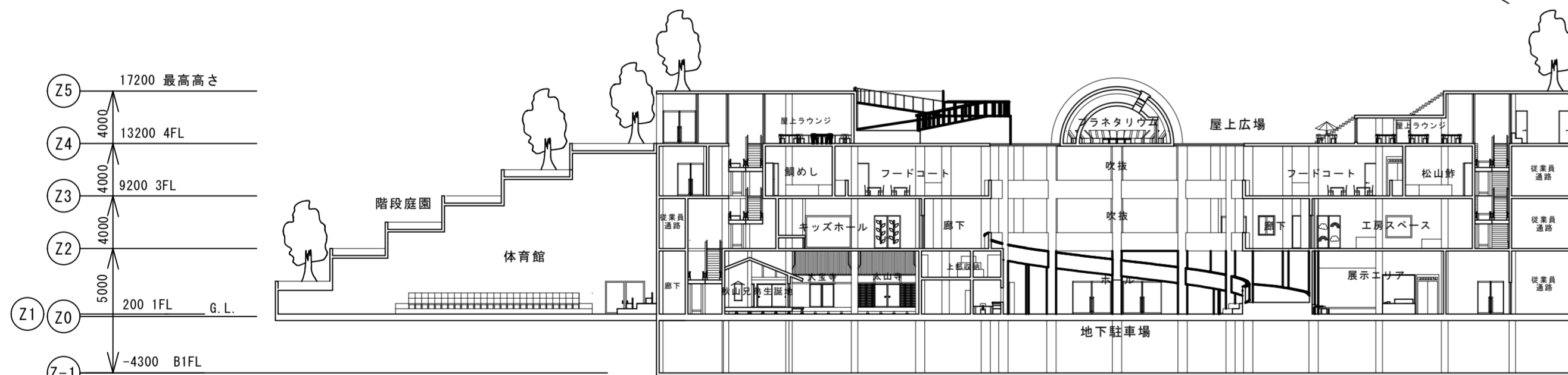
設計主旨



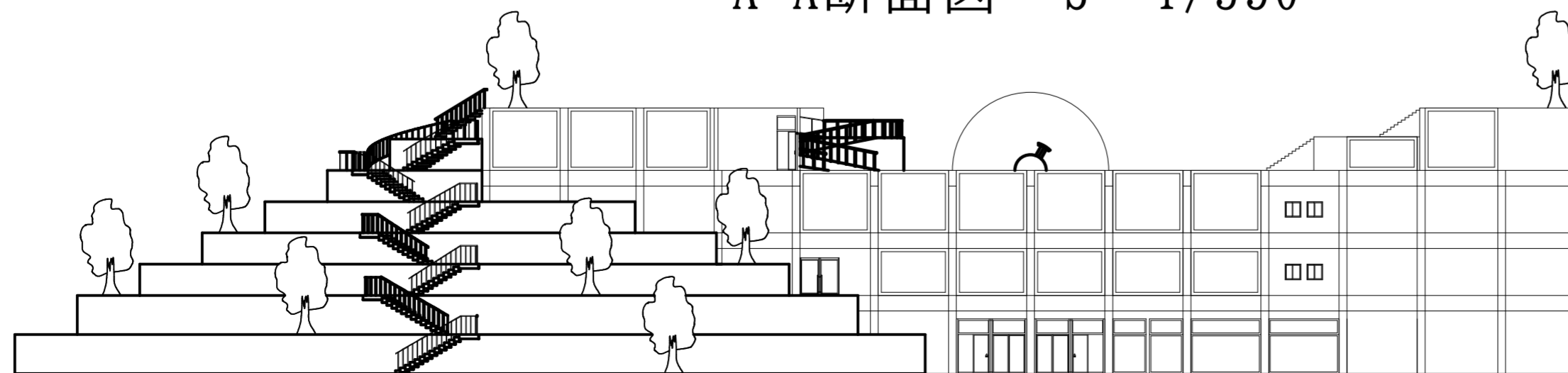
私たちの生活拠点となるここ松山は、古くから正岡子規の俳句や夏目漱石などの文豪による文学藝術、三津浜などの海運業、松山城、道後温泉など趣のある街並みが中心部と結びつき、現在も文化が発展を遂げる歴史あるまちだ。そんな松山をそぞろ歩いて思うのは、多くの文化が育まれている地域であるにもかかわらず、日常に歴史的文化的な取り込まれている機会が少なく、文化交流を育む場所が少ないということだ。近年では市内の人口減少が問題視されるが、同時にUターン、Iターンによる新規居住者も増えており、外国人観光客の増加など、国内外から注目されている。そこで地域の文化活動を松山を訪れたすべての人が共に行えるよう、地元住民にとっては自分の住む松山をより深く知るため、観光客にとっては観光案内所も兼ね備え、一緒に地域の活性化活動に参加できる「松山文化交流センター」を提案する。

建設予定地は大街道や松山城の中心部から道後温泉へとつづく経路の徒歩での回遊性を高めるため、中間地点の寄り道で知識をつけ、旅をより深いものにできるよう愛媛県民文化会館の向かいの南側に建設する。

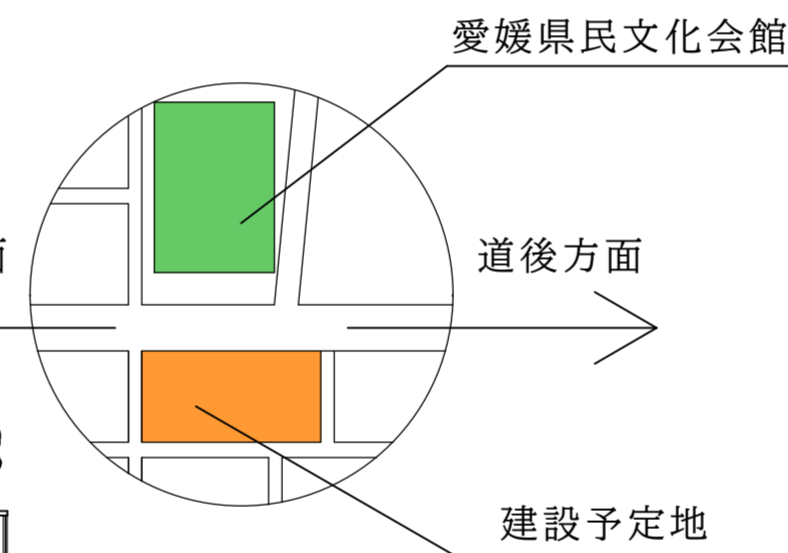
松山のあまたある魅力を建物一つにぎゅっとまとめたこの「松山文化交流センター」を周回し、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚の五つの感覚で体感することで「住んでみたい」「住み続けたい」と思える地域を目指す。



A-A断面図 S = 1/350



南立面図 S = 1/350



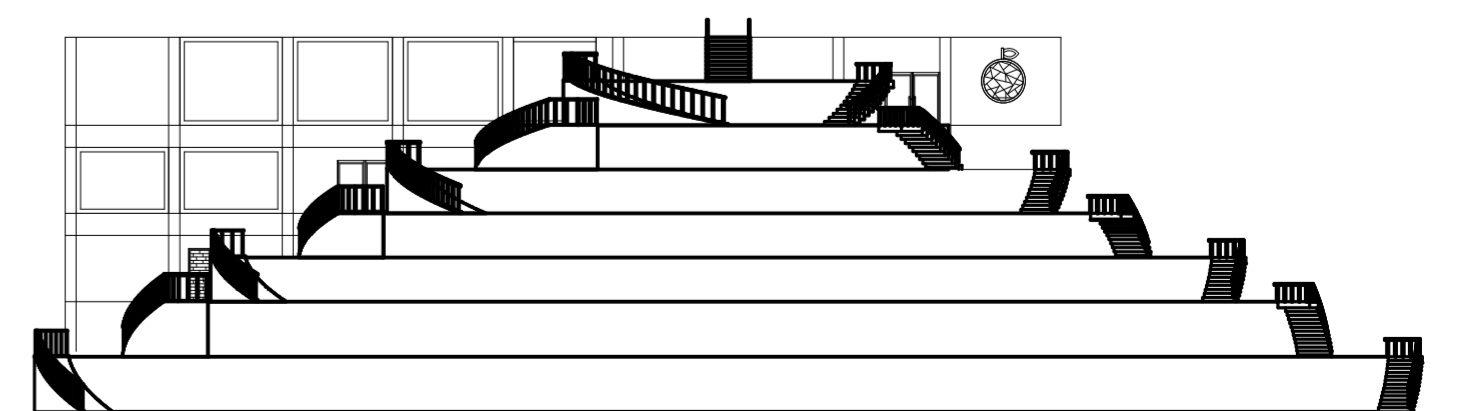
○旅の案内

- | | |
|----------|----------|
| 1F：文化フロア | 3F：食のフロア |
| 2F：体験フロア | 4F：交流フロア |

ここでは1階から4階へと順に文化・体験・食・交流の4つのフロアがあり、フロアごとに人間の五感のうち異なる感覚を刺激しながら松山について学べる

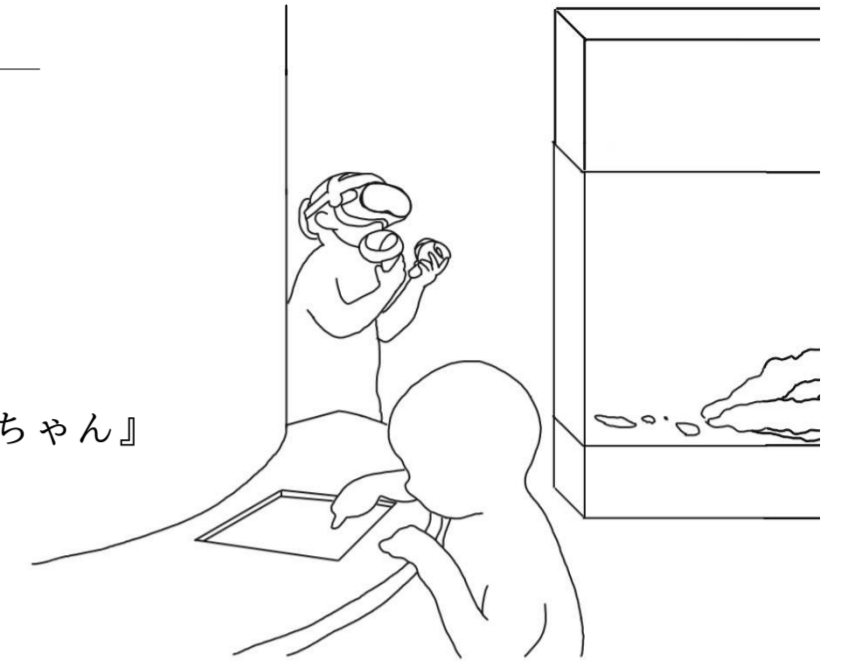
○選べる旅ルート

- | | |
|--|---|
| ① エントランスから建物に入る
下から上階に向かって探検
屋上から階段庭園で下る | ② 階段庭園を介して上階に上がる
上から下に向かって探検
エントランスから外へ |
|--|---|



西立面図 S = 1/350

展示エリア



○展示 坊ちゃん&マドンナの衣装・・・夏目漱石の『坊ちゃん』に登場する明治時代の衣服

○IT学習 タッチパネルを用いて個人で自由に学習を進められる。学習後のクイズで満点を取ると・・・

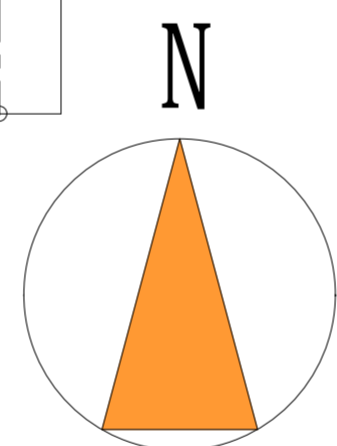
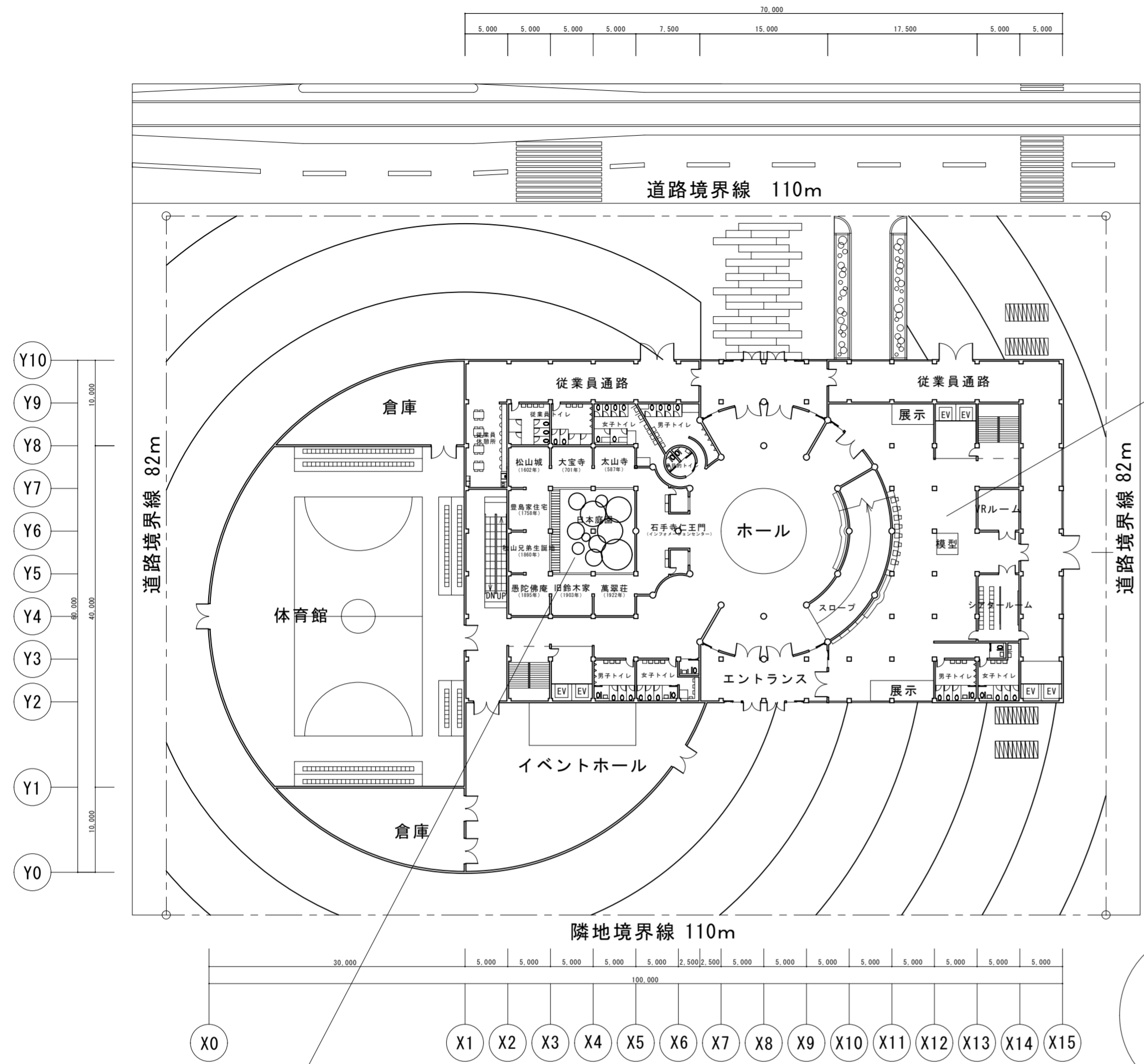
○VRルーム 松山上空を飛行したりや松山の海を実際に泳いでいるかのような映像で楽しくリアルに知識を身に付けられる

○模型 松山市の模型展示。4面ガラス張りで様々な視点から松山をみることができる

○シアタールーム 松山市についての歴史映像を流したり、お年寄りから子供まで楽しむことのできるラインナップ

視

聴

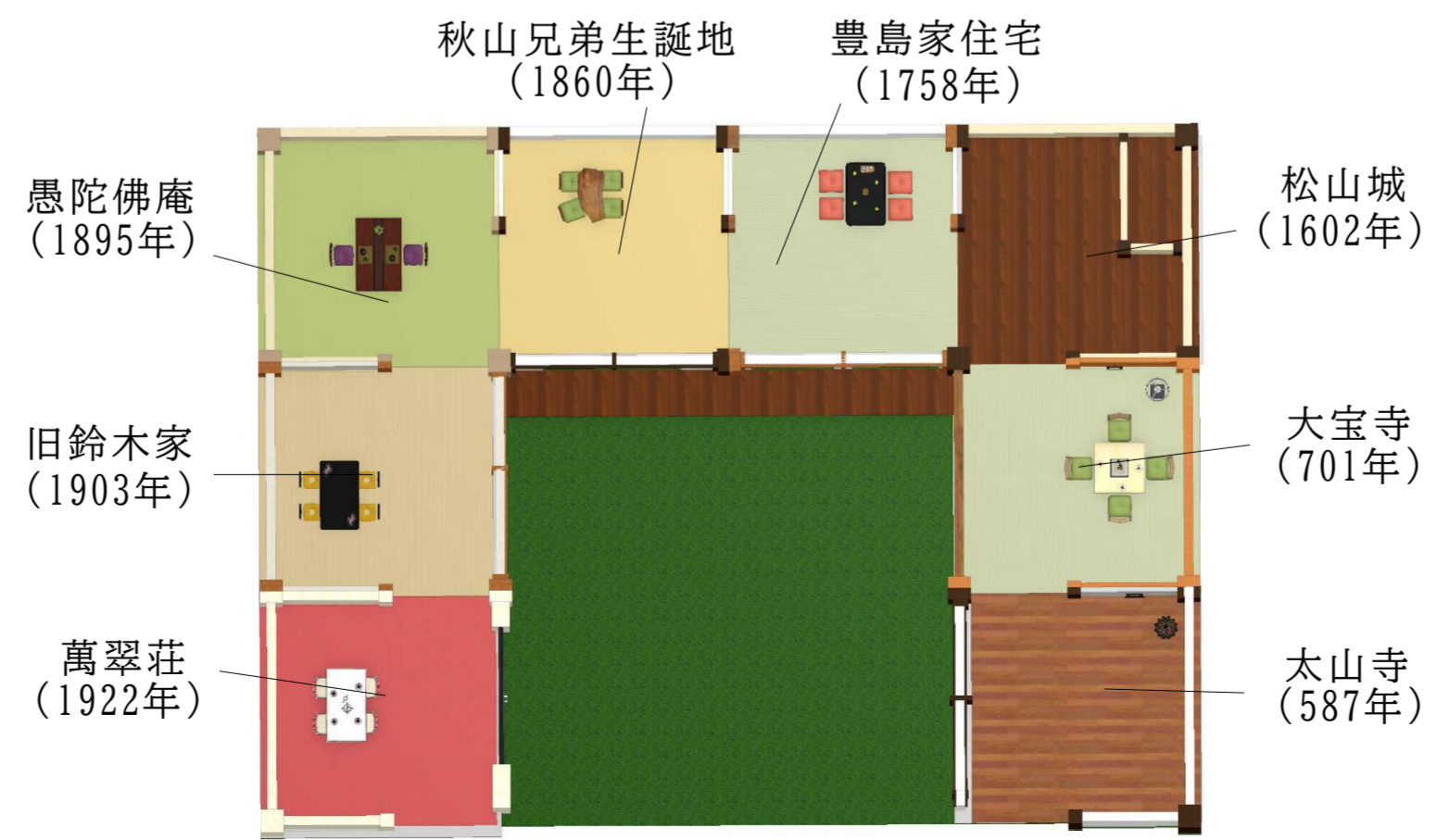


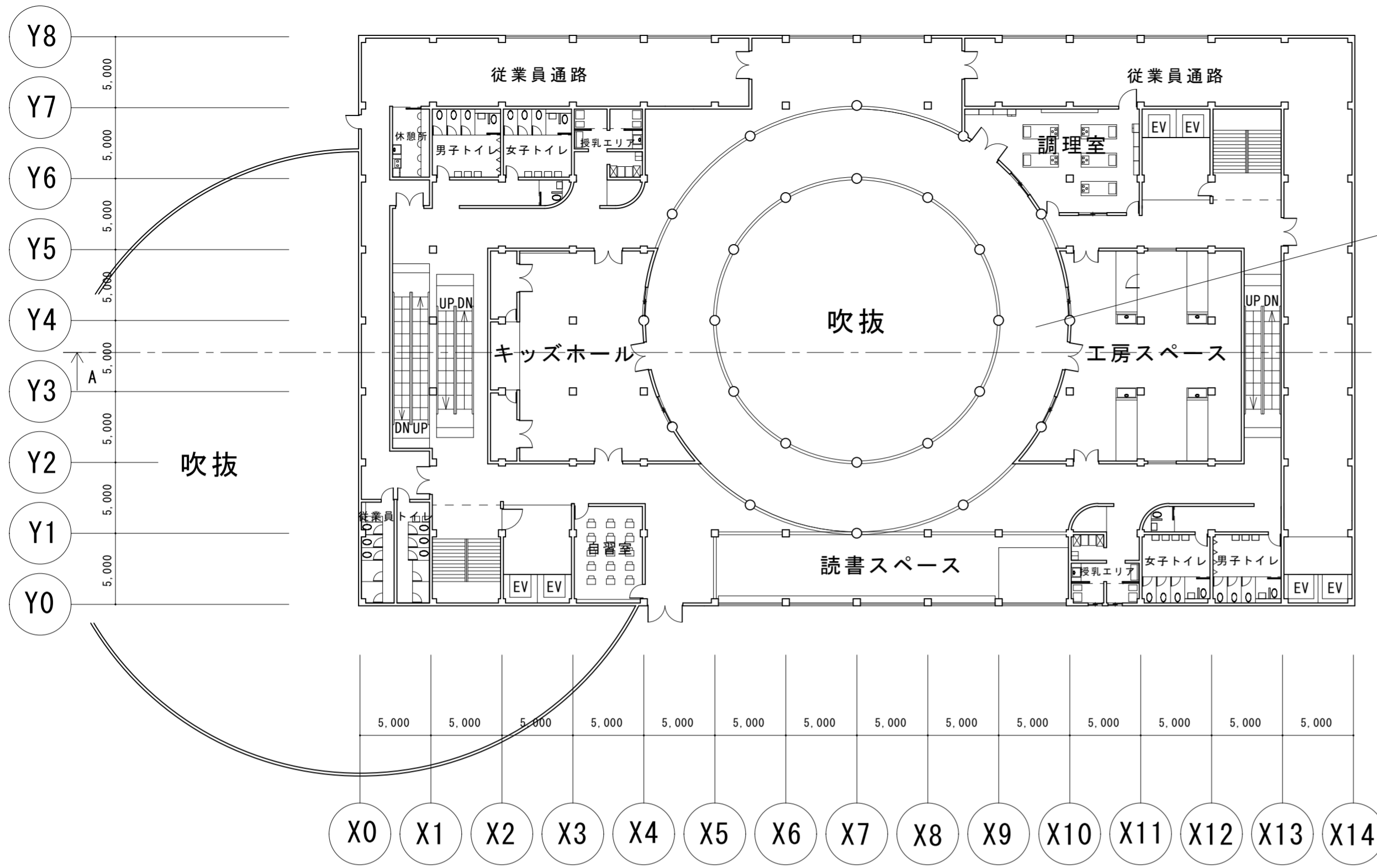
配置図兼 1階平面図 S=1/500

模型エリア

松山の重要文化財を一部屋ずつ模して作った回廊空間
石手寺仁王門をモチーフとした入り口で入場券を購入してから入り、見て、触って、実際に自分の素足で歩くことのできる模型を周回して、各年代、様式、文化など様々な違いをより実践的に学ぶことができる

視 触





2階平面図 S=1/300

食のフロア

視 味 嗅

松山市の郷土料理をフードコートとして提供することで、気軽に利用でき、松山の味をより親しみやすくする
 購入した料理は上階の屋上広場など持っていくことができ自分の好きなところで松山の景色を見ながら食事を楽しんでもらうことができる

- 五色そうめん 人工着色料を一切使わず、自然のままの素材食
- 松山鮓（もぶり鮓） 夏目漱石が初めて松山を訪れた時、正岡子規の母・八重がもてなした。
- 鍋焼きうどん 一人前用の小鍋に鍋の材料を入れ調理し、そのまま小鍋から食べる
- 鯛めし（松山風） 今治風が生魚と比べ焼いた鯛を昆布だしで炊き込む
- しょうゆ餅 あっさりとした後味ともちもち食感

体験フロア

味 嗅

○調理室 個人利用や団体利用で予約でき、イベント行事では郷土料理の料理講習会などを開催する



○工房スペース 松山の伝統的工芸品の制作体験ができ、のびのびと独創性を伸ばすことができる場所。例：竹工芸、姫だるまの絵付け、パールアクセサリー作り

触

視

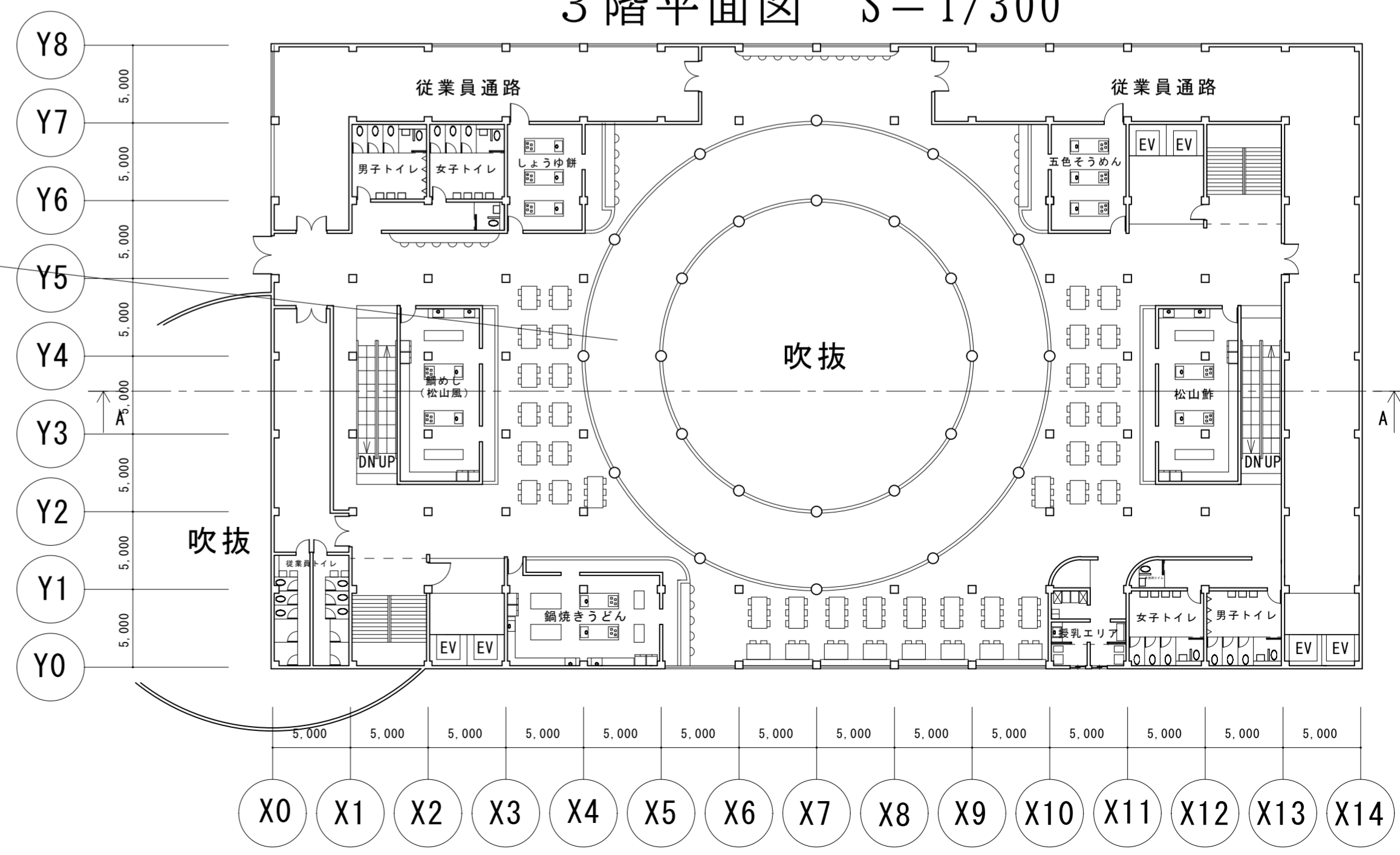
○読書スペース 小学生以下のこども向けの読書スペースで、親子で靴を脱いで腰掛けて本を読んだり、小さなボールプールも備えたフリースペース

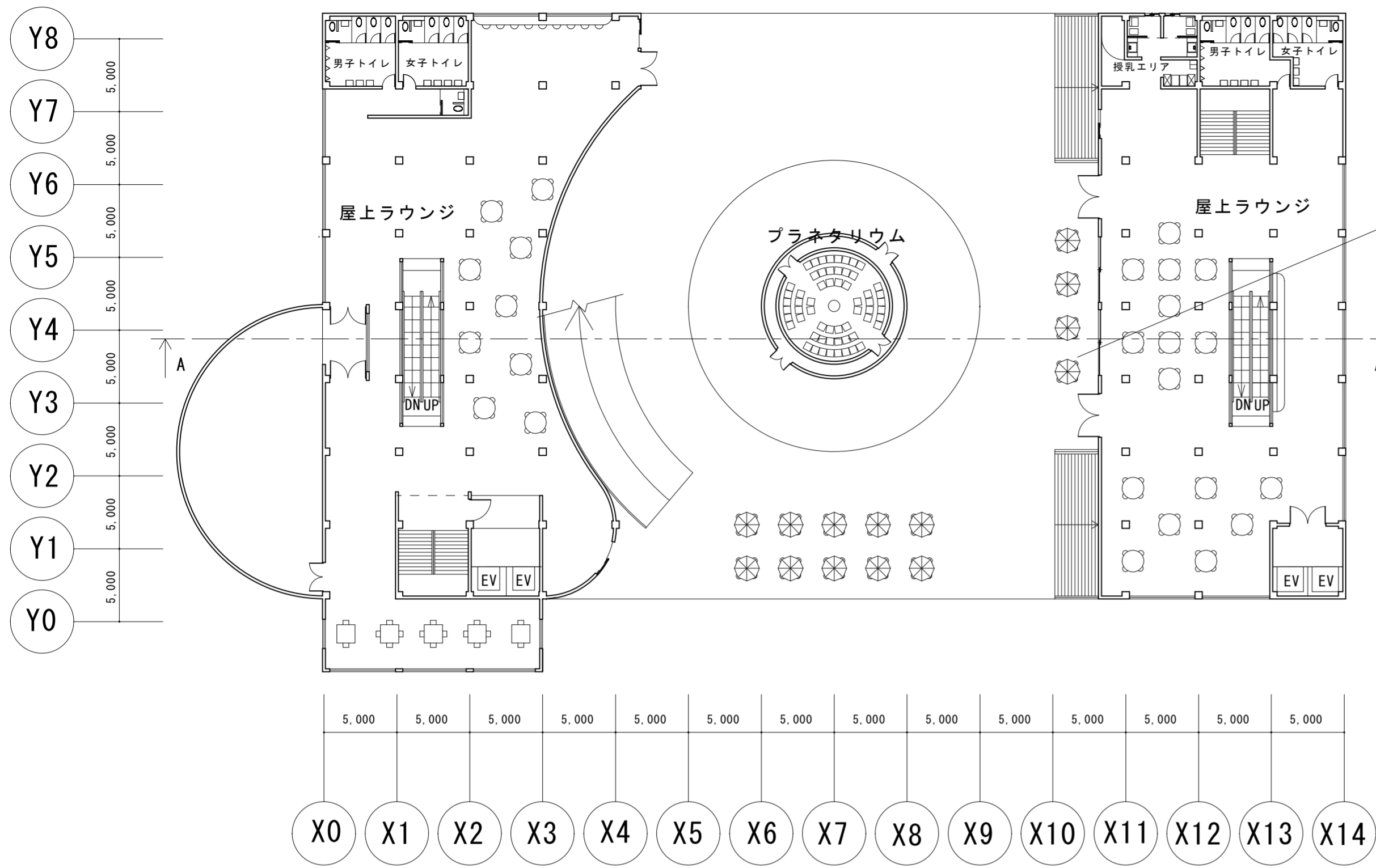
視

聴



3階平面図 S=1/300

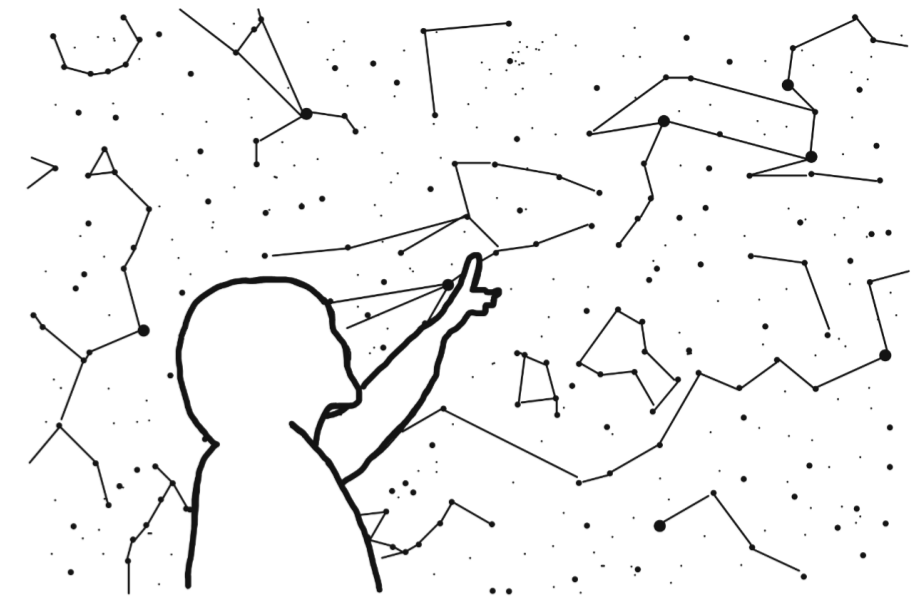




4階平面図 S = 1/300

食のエリア

視 **聴**



○プラネタリウム
 プラネタリウムでは、星のみならず音や映像にリンクした松山の歴史を巡る旅ができる
 例：松山市の成り立ち、松山の歴史、水の話（開運業、漁業）
 天井部を開口するとプラネタリウム内でくつろぎながら天体観測を楽しむことができる

○屋上庭園
 屋上は全面芝生を生やし、中心部分はガラスにすることで建物内部の吹抜へと円状の採光が取り入れられる
 テーブル席では食のフロアで購入した料理を楽しめ、カウンター席では前面ガラス張りの窓に対向する席でコンセントを利用したパソコン作業が可能

階段庭園

棚田状の段差を地球温暖化対策も兼ねて大規模に庭園にし、松山の市街地にみどりの山をつくる
 広い緑地での散歩で観光客も地元住人も気分リフレッシュで、よりきれいな空気を楽しむことができる
 季節ごとに見える景色を変える樹木で何度訪れても楽しむことができる
 階段・スロープのみ 最短で屋上にたどり着くことができる（避難階段としても利用可）
 階段&スロープのミックス 円弧をえがく道を通ることで散策距離が長くなり、まるで山を登っているような体験ができる

